

1. 計画名称

茅野市下水道中期ビジョン(下水道事業特別会計)

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	(R4・総括評価共通) 下水道普及率及び接続率につきましては、茅科地区の整備、戸別訪問などにより僅かながら増加している。改築更新対策延長及び地震対策延長につきましては、進捗に遅れはあるが交付金の活用、財政状況をみながら順次進めている。雨水排水移設の整備促進につきましては、令和3年に小江川ポンプゲートが完成し浸水被害を抑制している。
今後の重点化施策番号	1	説明	下水道施設は、整備開始から50年が経過しており、これから老朽化が著しくなることが予想される。現行のストックマネジメント計画を見直し、効率的な改築及び維持管理を行い、健全な財政状況を保ちながら、利用者へ快適な暮らしを提供していく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	快適な暮らしの実現と持続(1)	おおむね順調	(R4評価) ・茅科汚水幹線の酸性温泉水を中和する施設の整備 ・未接続家屋臨戸訪問(訪問件数92件中6件未接続解消) (総括評価) ・茅科地区の未普及区域整備を計画的に進めることができた。 接続率も地道に上げることができた。	(R4評価) 普及率、接続率に関しては、地道に個別訪問をし事業理解をいただく必要がある。 (総括評価) ストックマネジメント計画による既存施設の維持管理、更新を進めていく必要がある。 また、これに併せて耐震化、雨天時浸水対策が必要である。	(R4・総括評価共通) 未接続家屋については臨戸訪問を継続していく。 ストックマネジメント計画の改定更新を行い、市街地以外の下水道施設について計画策定を実施していく。またこれに併せて、耐震化、雨天時浸水対策を実施していく。
2	安全で安心な暮らしの実現(2)	やや遅れている	(R4評価) ・総合地震対策事業による管口可とう化工事をN=22箇所(耐震化延長L=459m) ・ポンプゲート整備の完了。 (総括評価) ・L=4.98kmの耐震化を完了した。 ・ポンプゲートを整備し、浸水対策が完了した。	(R4評価) ・総合地震対策第2期計画に沿って事業を進めていく必要がある。 ・ポンプゲートの完了。 (総括評価) ・総合地震対策計画の範囲を広げ全体量の把握をする必要がある。 ・流域治水関連法の改正に伴い、雨水計画の見直しをする必要がある。	(R4・総括評価共通) 総合地震対策計画と他の個別計画を組合せ、各幹線の下流部から効率的に成果が表れるよう事業を実施する。 浸水対策は、法改正に伴う計画降雨量の見直し、出水浸水想定区域の指定、雨水総合管理計画の策定を目指し利水の必要性と併せて検証していく。
3	安定した経営の確保(3)	おおむね順調	(R4評価) 一般会計からの繰入金が増加している中で、利用料金を維持しつつ財源確保を行う中で一定の利益を得ることができている。 (総括評価) 一般会計からの繰入金を計画的に減らしていく中においても、一定の利益を得ることができた。	(R4評価) 下水道事業における一般会計からの繰入金については、安定した経営を行うためにも、計画的、または緩やかな減額を望む。 (総括評価) 経常収支比率は100%以上となっているが、今後資金的に厳しい状況が続いていくことを予測している。	(R4・総括評価共通) 経常収支比率は100%以上となっているが、電気料金高騰による流域下水道維持管理負担金の単価上昇等により資金的に厳しい状況を予測している。 使用料の改定も視野に入れ事務を進めていく必要がある。
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		